

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん: ペグフィルグラスチム皮下注ボディーポッド製剤を 使用された方

1. 研究の題名 『 ペグフィルグラスチム皮下注ボディーポッド製剤の使用実態調査 』

＜研究期間＞ 令和6(2024)年7月1日 ～ 令和7(2025)年3月16日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ 持続型 G-CSF 製剤は化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制に対して有用な手段である。従来使用されてきた持続型 G-CSF 製剤のペグフィルグラスチムはシリンジ製剤であり、化学療法施行翌日以降に来院する必要があったが、来院負担軽減を可能とするボディーポッド製剤(以下、BP 製剤)が発売され、2023年3月より当院でも使用を開始した。今回、当院におけるBP製剤の使用実態について調査を行った。

＜利用方法＞ 利用 ・ 提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和5(2023)年7月1日 ～ 令和6(2024)年9月30日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して 診療記録 から 以下の情報を取得します。

ジーラスタ皮下注ボディーポッド製剤の使用回数、年齢、がん腫、使用プロトコール

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

景山 花奈(研究責任者)

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 薬剤部

＜研究責任者＞ 景山 花奈

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800(代表)

＜担当者＞ 景山 花奈